

令和5年
3月11日(土)

要予約
先着順70名

午後1時30分～午後3時30分
(開場 午後1時)

聴講無料

会場/橿原市役所分庁舎ミグランス4F
コンベンションルーム
申込方法/FAX又はE-mailでお願いします。
詳細は裏面をご覧ください。
主催/NPO法人 八木まちづくりネットワーク
問合せ/Tel.080-2530-7828

一部/「明治19年のロックダウン
-北八木村のコレラ感染をめぐって-」
奈良大学文学部史学科 日本近代史担当教員 井岡康時

二部/「JR畝傍駅舎の保全活用について」
一般社団法人 奈良県建築士会 太田隆司



講師/井岡 康時

1954年生まれ。奈良県立高等学校教諭、奈良県立同和問題関係史料センター勤務を経て、現在奈良大学文学部史学科で日本近代史担当の教員として勤めています。

景観まちづくり講演会
明治19年のロックダウン
北八木村のコレラ感染をめぐって

「明治19年のロックダウン -北八木村のコレラ感染をめぐって-」

講師/井岡 康時

江戸時代の後半から明治時代にかけて、日本列島は幾度もコレラの感染に見舞われ、多くの方が命を落としました。明治時代は12年（1879）と19年（1886）に大規模なコレラ感染が発生しています。いずれも約15万人が罹患して10万人ほどの犠牲者を出しました。

明治19年の感染の際には、とくに罹患者が多発した地域に対して人びとの出入りを禁止する措置が取られました。この措置は、当時は「交通遮断」と名づけられていました。現代風にいうとロックダウンということになります。当時の奈良県内では三つの集落が「交通遮断」の措置を受け、その一つが北八木村でした。

残された史料から、コレラ感染の急拡大に直面した北八木村や周辺地域の状況を再現し、人びとが、この災厄にどのように対応しようとしたか、確かめてみようと思います。

新型コロナの広がりや終息をみせないなか、感染症への対応のあり方や工夫などについて、歴史のなかに教訓を探ってみましょう。



吊祭疫死者之碑

同時開催イベント

JR畝傍駅 貴賓室公開

開催日：令和5年3月11日(土) 少雨決行

時間：午前10時～午前11時30分予定

場所：JR畝傍駅 見学無料



申込方法

申込方法：令和5年2月1日(水)より申込み開始です。お名前、参加人数、ご住所、ご連絡先(電話)、JR畝傍駅貴賓室公開イベントへの参加・不参加をFAXまたはメールでお知らせ下さい。定員に達し次第、締め切らせていただきます。個人情報に関して他の目的で使用することはございません。

1.FAX申し込み用紙

FAX 0744-25-6250

参加者のお名前 (複数の場合は連名で)	参加人数 人
ご住所	
ご連絡先 TEL FAX	JR畝傍駅 貴賓室公開 イベント 参加 ・ 不参加

2.E-mailアドレス：info.yaginet@gmail.com

メールの場合は、件名を「景観まちづくり講演会申込み」とし、本文にお名前、参加人数、ご住所、ご連絡先(電話)、JR畝傍駅貴賓室公開イベントへの参加・不参加をご記入の上、上記のアドレスにお送りください。

●新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、内容の変更や、やむを得ず中止する場合があります。●発熱(37.5度以上)や、せきなど風邪の症状ほか体調に不安のある方はご来場をご遠慮ください。●会場では必ずマスクを着用してください。●新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご来場のお客様の情報を保健所などの公的機関に提供することがあります。あらかじめご了承ください。